

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。

- ※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
- ※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ※記載されている写真およびイラストは、全てイメージです。
- ※記載されている商品名及び社名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、収納物も含めて当社では一切その責任、保証は負いかねます。
- この取扱説明書に掲載の写真及びイラストはすべてイメージです。

必ずお読みください。誤った取り扱いを致しますと火災の原因となります。

- タバコの火は必ず消えたことを確認してください。使用後は必ずフタを閉めてください。紙などの燃えやすい物の近くや、布製のポケット等に入れてのご使用はしないでください。
- 本体の変形やフタの閉まりが悪い場合は、ご使用を中止してください。
- 上記を守らずに、吸い殻がくずぶったまま放置すると、本体や周囲の熱変形の原因となります。

1 安全上の注意

警告

- 灰皿をご使用にならないときは、必ずフタを完全に閉じてください。開放したままですと火災の原因となります。降車の際、お車を離れる前に灰皿内が消火されているか必ずご確認ください。
- タバコは必ず消火した後にボトル部内に捨ててください。消火されないうちに捨てますとボトル部が熱くなったり火災の原因になります。また、消火穴が灰で埋まっているときは、ご使用をおやめください。
- 定期的に灰皿を点検し、本体の変形や、フタの閉まりが悪いなど異常がある場合は、ご使用をおやめください。
- 消火穴はつねに詰まらないように掃除してください。
- 走行中の運転者による本製品のご使用は大変危険ですのでおやめください。
- 紙くすなど、吸い殻以外のものを入れないでください。火災の原因になります。
- ボトル部内の吸い殻からは、一杯になるまでためないでください。
- 布製のポケットなどに入れてご使用しないでください。
- 本製品の設置が困難な場合または、本製品を設置すると運転の妨げになる場合はご使用をおやめください。
- 本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障、破損の原因になります。

注意

- ボトル部に水を入れてご使用しないでください。ボトル部は防水ではありませんので水漏れをおこし車内を汚すおそれがあります。
- 落としたり、叩いたり強い衝撃を与えないでください。強い衝撃によって傷や剥がれが起こる場合があります。
- フタの開閉作業は必ず両手で行ってください。また、開閉の際に指などを挟まないようにご注意ください。
- タバコホルダーに火のついたタバコを置きますとホルダー部自体に熱が伝わりますので、触れないようにしてください。また、ホルダーに火のついたタバコを長時間放置しますと、熱によりタバコホルダー周辺が変形するおそれがあります。
- 走行中の振動、急ハンドル、急ブレーキなどで本製品が脱落するおそれがありますのでご注意ください。
- 悪路走行する場合、取り付けベースから本体を取り外してください。
- 上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造(ご購入後の塗装やデコレーションなどを含む)をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

2 ご使用の前に

- 設置場所が運転操作やシフトレバー、ウインカーレバー、サテライトスイッチなどの操作に支障をきたさない場所か、エアバック作動時に影響がない場所か確認してください。

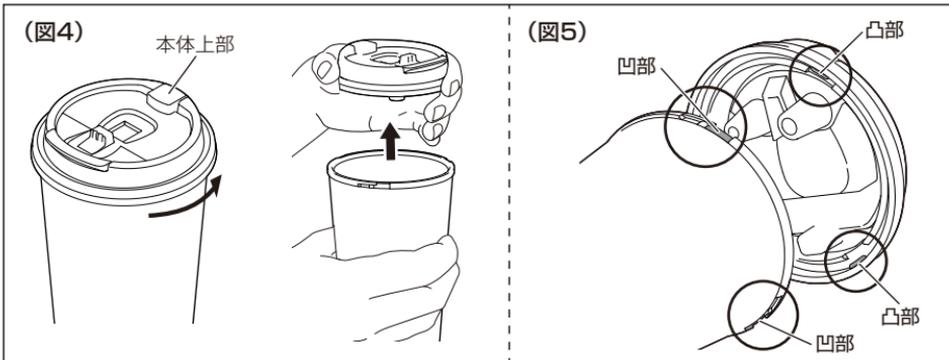
3 使用方法

- お車のドリンクホルダーに収納してください。(図1)
 - 本体をしっかり并保持した状態で取っ手を上に上げるとフタが開きます。(図2)
 - タバコを置くときは、先端の火種がボトル内側面やフタ内側に接触しないようにして、タバコホルダーに固定してください。(走行中は落下するおそれがありますので、タバコを置かないでください。)(図2)
 - 消火穴で火を消す場合は、先端の余分な灰を落としてから、タバコ先端を消火穴に挿し込んでください。10秒以上挿し込んだ後、火種が消えたことを確認し、ボトル部内に捨てて必ずフタを閉めてください。
 - 灰落し部を使ってタバコ先端の灰を落としてください。(図2)
 - たまった吸い殻を捨てるときはフタを開けてそのまま捨ててください。
- ※ご使用にならない時は、必ずフタを閉じてください。



4 ボトルの取り外し方

- 本体上部は上から見て時計回りに回すことでLOCK状態となり、反時計回りに回すことでFREE状態となり、ボトルから取り外すことができます。(図4)
- ※使用中は必ずLOCK状態にしてください。
- 本体上部を反時計回りに回し、FREE状態にしてから本体上部を持ち上げてボトルから取り外してください。
- 本体上部を取り付けるときは、本体上部の凸部とボトルの凹部を合わせるように本体上部とボトルをはめ込み、本体上部を回して「カチッ」と音がしたことを確認してください。(図5)



5 お手入れのしかた

- 本体上部とボトルは水洗いが可能です。(図6)
- ※水洗いする際は、洗剤、ベンジン、アルコールなどを使わないでください。ひび割れや変色の原因になります。
- 水洗い後は風通しのよい場所に約24時間置き、十分に乾燥させてください。
- ※ドライヤーなどで熱風をあてないでください。変形や故障の原因になります。



製品に関するお問い合わせは… ☎ 0570 (039) 710

受付時間/AM10:00~PM5:30 月~金曜日(祝日休業)

〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1